「林原美術館プレゼンツ
～真夏の夜の講談ライブ～」

張り扇でリズムを取りながら物語を読み進める、日本の伝統話芸「講談」。ダイナミックな語り口が小気味良い女性講談師の日向ひまわりさんをお迎えし、展覧会にちなんだ怪談物を読んでいただきます。

詳細は以下のとおりです。館員一同、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

日　時：平成３０年８月１８日（土）
　　開場１８時　　開演１８時３０分
出　演：日向ひまわり　さん（講談師）
演　目：「牡丹燈篭―お札はがし―」他
会　場：林原美術館ロビー
定　員：７５名（要予約）
参加費：２，８００円（入館料別途）
　　※お支払いは、当日払いとなります。
※演目の間に学芸員による展示解説がございます。

＜お申込方法＞

◎　申込受付は先着順です。定員になり次第締め切らせていただきます。
参加ご希望の方は、申込用紙（別紙）に必要事項をご記入の上、美術館受付にてお申し込みください。手続きが完了しましたら「参加整理券」をお渡ししますので、当日ご持参ください。
郵便・ＦＡＸでのお申し込みも受け付けさせていただきます。

お申し込み期間

６月１２日（火）～ 開催日前日まで

＊　休館日のお知らせ

毎週月曜日は休館日となっており、お申し込みはお受けできません。
（月曜日が祝日の場合は翌日火曜日が休館日です。）

なお、６月１８日（月）～７月６日（金）の期間中は、展示替えのため休館しておりますが、来館にてお申込みの方は、事前にご連絡をお願いいたします。

＜お問い合わせ先＞

林原美術館　　〒700－0823　岡山市北区丸の内２－７－15
TEL（086）223－1733　　FAX（086）226-3089

講談師　日向ひまわりプロフィール

【出身地】広島県三原市
【階級】真打ち
【略歴】
１９７５年　広島県大和町（現三原市）生まれ
１９９４年　二代目神田山陽に入門
　　講談師となり神田ひまわりを名乗る
１９９８年　二つ目に昇進
１９９９年　若手演芸家に贈られる林家彦六賞の内、
　　『岡本マキ賞』を受賞
２００８年　真打に昇進し、日向ひまわりと改名
２００９年　三原市の「ふるさと大使」に就任
　　津山市「観光アドバイザー」就任
２０１２年　日本ユースリーダー協会より
　　「ユースリーダー支援賞（個人）」を受賞
２０１３年　コロンビア大学 東アジア言語文化学部にて講演

現在、東京都内の寄席を始め、全国各地で高座に上がる。
大きな会場での公演だけでなく、公民館や集会所、
お蕎麦屋さんやお寿司屋さんのお座敷など地域密着型の会にも出演。
「講談は心を読む芸だと教わりました。今も昔も変わることのない
人の心が描かれた講談を一人でも多くの方に生でお届けをし、
講談の楽しさ・面白さを知っていただき、身近な娯楽の一つに
していただけたら」という思いを胸に活動中。

【「講談」について】

「講談」と「落語」はよく比較されていますが、簡単に言ってしまえば、「落語」が会話によって成り立つ芸であるのに対し、「講談」は話を読む芸という言い方があります。もちろん読むといっても単なる朗読とは違い独特のしゃべり調子と小道具の使い方で展開されます。よく使われる小道具として有名なのは張り扇と釈台（机）です。張り扇で釈台を叩きパパンという音を響かせて、調子良くメリハリをつけて語ります。リズミカルな話芸の妙味によって、どんな荒唐無稽な話でも嘘いつわりない本当の出来事のように思わせてしまいます。この小道具を巧みに使った芸こそ「講談」ならではのものです。

起源は戦国時代の御伽衆であると言われていますが、寄席演劇としての講談の原型は、江戸時代の大道芸のひとつである辻講釈（または町講釈）に求めることができます。宝永年間には常設小屋で上演されるようになり、「講釈」と呼ばれるようになりました。文政年間には話芸としてほぼ確立し、幾つかの流派が誕生しました。他の芸能との交流も進み、講釈での人気演目が歌舞伎や人形浄瑠璃化されることもありました。明治時代になった後、講釈は講談と呼ばれるようになりました。

※辻講釈…太平記などの軍記物を注釈を加えつつ調子を付けて語るもの。

「林原美術館プレゼンツ
～真夏の夜の講談ライブ～」
参加申込書

平成３０年８月１８日（土）

受付番号	ふりがな	
	氏　　名	年齢：　　歳　（性別：　男性　・　女性　）
	友の会会員番号	※会員の方のみ。
	住　　所	〒
	連絡先 （TEL）	（　自宅・勤務先・携帯　）

受付番号	ふりがな	
	氏　　名	年齢：　　歳　（性別：　男性　・　女性　）
	友の会会員番号	※会員の方のみ。
	住　　所	〒
	連絡先 （TEL）	（　自宅・勤務先・携帯　）

受　付　日		備　考	
整理券発行日			

＊　太枠のみご記入下さい。（本紙は２名様までご記入いただけます。）

＊　当日はご来館順にて受付を致します。
　　混み具合によってはご入館を多少お待ちいただくこともあります。予めご了承下さい。